

毎週月・水・金曜日発

富山県報

令和元年5月22日

水曜日

号外(2)

目次

公 告

○主要農作物の奨励品種の決定

1

公 告

主要農作物の奨励品種の決定について

主要農作物の奨励品種を次のとおり採用する。

新たに採用する品種の来歴、特性概要、栽培上の注意及び普及対象地域は、次のとおりである。

令和元年5月22日

富山県知事 石 井 隆 一

1 主要農作物の種類及び奨励品種の名称

主要農作物の種類	奨励品種の名称	(名称のよみ)
水稻	てんたかく81	てんたかくはちじゅういち

2 奨励品種に採用した「てんたかく81」の来歴等

(1) 来歴

「てんたかく81」は、本県の早生基幹品種である「てんたかく」を2～3日早生化するとともに、粒の充実を向上させて、収量性を高めた品種である。

平成15年に、富山県農林水産総合技術センターにおいて、「てんたかく」を母に、「コシヒカリ」を父に人工交配を行い、その後代から育成した品種である。

平成24年には、「と系1471」の系統番号を付け、生産力検定を実施したところ、「てんたかく」より出穂期が早く、粒の充実が良く屑米が少ないほかは「てんたかく」と同質性が高いことが確認できたことから、平成25年から、

「富山81号」の地方番号を付け、生産力検定を継続するとともに、現地適応性の検討を行った結果、成績優良と認められた。

平成30年12月に「てんたかく81」の名称で種苗法（平成10年法律第83号）第5条第1項の規定により品種登録出願を行い、平成31年4月に同法第13条第1項の規定により出願公表がなされた。

(2) 特性概要

ア 出穂期及び収穫期は「てんたかく」より2～3日程度早い。

イ 稈長は「てんたかく」並みで、耐倒伏性に優れる。

ウ 粒の充実が良く、「てんたかく」よりも屑米が少ない。

エ 高温登熟性は「てんたかく」並みに強く、整粒比率が高い。また、食味は「てんたかく」並みに良い。

(3) 栽培上の注意

ア 品質や食味を高位安定化するため、施肥量は過剰とならないよう留意する。

イ 紋枯病や割籾等の発生は「てんたかく」と同様であり、的確な病虫害防除を行う。

ウ 「てんたかく」に比べて、成熟期が2～3日早いので、刈り遅れとならないよう注意し、胴割米の発生防止に努める。

エ 玄米水分14.5～15.0%に仕上げるとともに、1.9mmの篩目による選別を徹底する等、適切な乾燥調製を行う。

(4) 普及対象地域

県内全域に普及する。